

全国特定地域づくり探訪

●「地域全体で複数の仕事を組み合わせる」ことで定年まで安心して働ける雇用の創出

いくさか

生坂村特定地域づくり事業協同組合

長野県
生坂村

活用のきっかけ・期待すること

- ▶ 村の基幹産業である農業（ブドウ栽培）の農繁期の人手不足や村内への移住希望者の働く場所の確保のため、組合を設立。
- ▶ 「人手不足」は入り口に過ぎず、「働き方の新しいデザイン」「地域の価値創出」が組合のミッション。「職員（派遣職員）ファースト」の組合運営。職員は出資しないが、組合運営に関与。派遣先は職員の希望を最優先。

取組内容

▶ 働き方の新しいデザインと地域の価値創出

地域全体で複数の事業者の仕事を組み合わせ定年まで安心して働ける通年の雇用を創り出し、安定的な雇用環境を創出することでUターンを促進し、地域の担い手を確保するとともに地域社会の維持と地域経済の活性化を図ることを目的として、令和3年2月（認定8月）に設立した。

組合では、地域の多様な業務（ブドウ栽培、農園管理及び販売作業、介護施設事業補助作業、建設事業関係事務）を行うマルチワーカーとして、組合職員を求人募集会社・生坂村HP掲載、ハローワーク等を通じて募集。また、空き家バンクとの連携。生坂村空き家バンク（村内の空き家情報掲載、物件の特徴：大きく広い古民家、田畑・山林付き物件等）と連携し、補助金（空き家改修・整備費用の半額補助等）情報も提供している。

組合の特色

▶ 職員の将来につながるマルチワーカーの仕組みづくり

定年（65歳）までの雇用や派遣先への就職のため、派遣職員と定期的な対話とキャリアアップ研修等を実施しているが、組合による共同研修事業の強化が課題となっている。

様々な業種へ職員を派遣するため、ケアが必須である。職員は、派遣先で働くため、バラバラ。職員同士をはじめ、組合員と職員との交流なども行いながら現状の課題を共有し、組合運営に反映させている。また、職員は、「複業」ならではの知識を習得している。

マルチワークのイメージ

☆生坂村マルチワーカー 1年間のお仕事イメージ☆

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	ブドウ栽培、農園管理、販売作業							建設事業関係事務		介護施設補助作業		
	 <ul style="list-style-type: none"> ・ブドウ栽培作業 ・農園管理作業 ・農産物販売 							 <ul style="list-style-type: none"> ・工事関係書類作成 ・一般事務 		 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の送迎 ・給食サービス ・介護士補助 		